

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年1月14日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから1月14日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、1月18日の（4）核燃料施設等の審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目は常陽の新規制基準の適合性についてということで、主にこれまで出てきたコメントへの回答ということになります。

2つ目は、JAEAの放射性廃棄物の廃棄施設の設置変更許可についてということでありまず。

これは、いわゆる新規制基準のほうの許可は既に出ている部分でありますけれども、2つの建物で廃棄物の濃度に分けて処理をしているというものを1つの建物に集約するといった変更があるようでありまして、その申請が12月にありましたので、今回はその初回会合で概要を聞くというものになります。

次が、1月20日の（7）第51回技術情報検討会です。

議題は、定例の安全研究等から得られる最新知見についてというものと、事故・トラブル情報についてということになります。

今回は、特段の目新しい、報道されているような知見とか事故・トラブル対応についての議論はないと。

前回、第50回は産総研の津波の関係の議論はありましたけれども、今回はそういった特段の目新しいものはないというもののようです。

次が、1月20日の（8）ALPS処理水の審査会合です。

実施計画の申請の後では、12月24日と1月11日について3回目ということになりまして、当初予定どおり1週間に1回というペースで進んでいるというものになります。

今回、どういう内容について説明があるかというのは、まだ情報がないので分からないということです。

次が、1月20日の（9）第1025回審査会合です。

議題は、女川の特定重大事故等対処施設についてということになります。

申請があってから、今回初回の概要説明ということになります。今回は非公開とすべ

き情報がないので、特重ではあるのですがけれども公開で行われるというものになります。

次が、1月21日の（10）第1026回審査会合です。

議題は、川内と玄海の標準応答スペクトルについてということになります。

川内は申請があってから2回目の会合で、前回6月11日のコメントへの回答ということになります。

玄海のほうは、8月23日に申請がありまして、今回が初会合というものになります。

説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—